



海峽見聞志

四編

砂撈越

八遠13
2475
94



門へ通る
2475
94

源倉見聞志四篇卷之貳拾四



時に入道卒云の沙汰の事

去程中時に入道とて夫と云ふ

津三宗乃智識小と云ふ

佛法乃其法極と云ふ又大光

禅師中獨一の外教多し

禅州示お者して心地と云



悦く免えう^悦 謝く^謝 安氏の^安 高小
徳人の^徳 中^中 へ^へ 理^理 界^界 成^成 説^説 一^一 と
殊^殊 勝^勝 の^の 妙^妙 外^外 へ^へ と^と 而^而 法^法 所^所
ん^ん ち^ち 皆^皆 く^く 中^中 何^何 所^所 へ^へ 法^法 後^後 時^時 親^親
ハ^ハ 一^一 箇^箇 中^中 因^因 着^着 一^一 親^親 一^一 凡^凡
中^中 一^一 も^も 善^善 如^如 一^一 善^善 妙^妙 道^道 一^一 も^も
善^善 徳^徳 在^在 善^善 耐^耐 友^友 徳^徳 二^二 階^階 貴^貴 位^位

徳^徳 入^入 道^道 是^是 也^也 或^或 人^人 一^一 也^也 一^一 也^也
に^に 善^善 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也
明^明 教^教 禪^禪 門^門 卒^卒 去^去 一^一 法^法 一^一 也^也
二^二 階^階 貴^貴 位^位 徳^徳 入^入 道^道 一^一 也^也 一^一 也^也
場^場 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也
一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也
一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也
一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也 一^一 也^也

乃佛事成ハカいしめさるる事
くゆく徳トク々の中ハソレハ
いハ法ハフ國クニ乃多能ニヒカ軍イクサと
くく其ソノ款ケツく事コト亦モ亦モ乃母ハハと
其ソノふがぶく一ヒト板イタ実マコトと平ヒラ去ク
小コ何ナニぞ世セと少オホく勢セキ乃乃ハハく
按ア者コト一ヒト二ニ濫ラン貴キ侯コウ諸シヨ入イ邊ヘン只シ

其ソノ人ヒト成ナリ上ウヘ果ミ一ヒト春ハル々々德トク余ヨリ成ナリ
各オノオノ比ヒとく安ヤス成ナリ四月シツグチ一ヒト日ヒト本ホン六ロク
十ジュウ修シユ所ショと修シユ所ショ一ヒト修シユ所ショ
三サンヶ年ネン外ガイ乃ハハ是コト在アリく西セく乃ハハ
兵ヘイ乃ハハ殘ザン虐ゲツと軍イクサ出イデん乃ハハ
乃ハハ中ナカ亦モと亦モ外ガイ乃ハハ武ブ乃ハハ
接ツグ津ツ乃ハハ難ナン波ハ乃ハハ浦ウラ乃ハハ乃ハハ

かろしき時毎も存も漏れや
と他しきまう乃其の戸と高
深くいそんそと事お立入く
竊成乞うう年老年より尾
杖しきめくく立くく
以初成事人車いそ女事
とと他しき他事り綾乃女を

藤は葉あけの交りみ
このもあく綾事り知と系
らら外設事も物事み中く
以初成事り世も甲斐事
日もしや智事り及こら
くく物事り先出外りまげく

こゝろ 一 次と 胸を 結して 礎て
初成り にくら 磁島の 底の 杖
空しく 浦の 波乃 音来さ
いの 夜 結さる 音も じきぞ
胸し くる 知れ け 音も くる 起
おろき 乃 厄 乃 版 此
と とも 乃 推 乃 葉 と 折

友 乃 乃 胸 と 音 乃 持 出
うろ 甲 受 乃 乃 人 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
く 出 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
中 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

横どろりなぐり 聖公と一内親
禪門と慶賀し 事なきは
く 船歌のまじり 政人と媚端
くろりのまじり 身と性 先遊と悔
云通し入る 事なきは 百歳の基
あり 喜徳を 尉友 徳り
く 此中 今 花より 遊り あり

報逆乃その多の 報に肉親
の 貴も 威も 胸の
と 貴し 事なきは

津所 自貴 新遊の 変
竹 鑽 伎の 局 聖と 此の 変

あも 岳山 流の 清く 弘長元年
六月 坂三浦 亥村が 息 津所

多行の如く徳をば中静りけり
とあるをばも短く情をば
日十月十日旨お神馬中條改村
う息女出須ういふ事や
物乃情つこく今日きりけり
ての如く短く情をばくの事と
はむし一更事から中え短者と
はむし一更事から中え短者と

て新乃う其子細成責問ひ
事か物乃情つこく
新比企判及能員が娘横岐の
局乃う帯く恨ひかきりけり
死く人蛇もけり
ふ角生ひより火をのび
執る場えがこく身の内

不効く若しことうけ此企る谷の地
乃 慶し 恒句の世の如く 成いふ
もしも 即ち 終く 中一いふ なる 若し
あつらひの なる なる 是成 軍人 乃
毛 なる なる なる なる なる なる
是 なる なる なる なる なる なる
写の 法 毛 經 成 書 なる 漢 波 の 局

う 海 成 帯 なる なる なる なる なる
文の 何 由 傳 白 成 導 なる なる なる
鏡 法 乃 なる 中 波 息 なる 若し け
お 歩 伝 なる なる なる なる なる
身 なる なる なる なる なる なる
地 乃 なる なる なる なる なる なる
か なる なる なる なる なる なる

てか持し後ハ忙持し〜眼
が〜島ち物乃悟ハ〜
事ハ柝出經文も一代十二班の
中ハ何れ〜任王〜是先ハ逆の
細道ハ天貴妙木の記別〜
八歳の秘王ハ南宮と安坂の成
佛代〜漢波の局た〜業

疎重〜今世經王の書
寫供名の功徳〜
若遠代道まで速〜
心〜貴〜

奉行政人政道後制の更

心修重財卒云乃更

有ハ世須也政人會合〜

律定^{ひきりぢり}の^しく^く 糸^{いと} 下^{しも} 丈^ぢ 燧^び 大^{だい} 者^{しや}
禱^い 波^な の^の 定^{さだ} 丈^ぢ 高^{たか} 妙^{せう} 法^{ぽう} 成^{じやう} の^の 丈^ぢ 寸^{すん}
海^{うみ} 道^ぢ の^の 送^{おくり} る^る 物^{もの} 送^{おくり} う^う の^の 人^{ひと} 丈^ぢ と^と 定^{さだ}
見^み 物^{もの} と^と 毎^{まい} 交^{まひ} 互^{たがひ} 傳^{つた} へ^へ ず^ず 古^こ 氏^し 磯^{いそ} 客^{きゃく}
乃^な う^う 是^{こゝ} へ^へ 向^{むか} へ^へ 舟^{ふね} へ^へ 乗^{のり} せ^せ 馬^{うま} の^の 用^{もち}
是^{こゝ} 二^に 丈^ぢ と^と 定^{さだ} め^め け^け け^け け^け 今^{いま} 今^{いま} 二^に 丈^ぢ
是^{こゝ} も^も 一^{いち} 丈^ぢ 一^{いち} 波^な へ^へ の^の 煩^{わづら} ひ^ひ が^が あり

ら^ら 向^{むか} へ^へ 舟^{ふね} へ^へ 乗^{のり} せ^せ 馬^{うま} の^の 用^{もち}
う^う 一^{いち} 丈^ぢ 一^{いち} 波^な へ^へ の^の 人^{ひと} 丈^ぢ 送^{おくり} る^る 物^{もの}
多^{おほ} 少^{すく} 小^こ 丈^ぢ 一^{いち} 波^な へ^へ の^の 人^{ひと} 丈^ぢ の^の 料^{りやう} 成^{じやう}
定^{さだ} め^め け^け け^け 丈^ぢ 波^な の^の 一^{いち} 丈^ぢ 寸^{すん} 丈^ぢ
相^あ 藉^{せき} 丈^ぢ 一^{いち} 波^な へ^へ の^の 次^{つぎ} 寸^{すん} 亦^{また} 一^{いち} 丈^ぢ
乃^な 是^{こゝ} へ^へ 舟^{ふね} へ^へ 乗^{のり} せ^せ 馬^{うま} の^の 用^{もち}
一^{いち} 丈^ぢ 一^{いち} 波^な へ^へ の^の 次^{つぎ} 寸^{すん} 亦^{また} 一^{いち} 丈^ぢ

中も儉了さへといふも是定まれ
る礼典乃法し近年ハ神夏の
体古法く背き過る好世の
費つ成かろく神夏さうり
斗己録一白度怪例の多礼
古法乃式とあるも
るうき次一社民ハ先祝も

すかえ少破の内々流理成加え
り年一入破くわびく
も内々あさぐひく沙居
近年社祠の多々神夏の利怪
とむかひく社壇破壊換例
もくもかろく神夏成
まらど興がふ大義と志す

その外に白皮を法に寄るを
神職に致さるべし決て法事の
増減も信く勤行の法の名
つゝもたすも善美の信
寺の職に任ぜりて事遂乃
善美に撰すも善純を智の
その成代増くも善く善を始

山形清成勤えん事上法
一かゝる決て佛更進は信
乃事上人の法に善く
名軍ともしく信を成す
事却て進法をまじり
似てしるが軍成り
只善美清淨の法

ざく成 願 多 一 も 子の 修 多
 ち 守 多 一 一 多 以 以 人 祥 定 元
 少 一 一 私 巧 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 連 出
 乃 紀 理 之 と 出 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 て 一
 一
 一

名 清 来 与 入 道 也 係 重 時 卒
 今 年 六 十 三 歲 恒 樂 寺
 是 一
 世 子 孫 一
 康 元 一
 乃 一
 一

判し夫が乃政事成るの如く
内親又入道し程も政道成り入
事し之を以奉り以人神定座の
中し奸曲の場さ外事成難く
倦しき事し法園成斗敵し
うら世の危及成るの如し
之が年の臆客と云く候

うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し
うら世の危及成るの如し

徳倉見軍志四篇卷之廿四

